

# 研修だより

No.11

## 公開研お疲れさまでした！④

今回は、Step up 学級の授業について、事後研で出た意見をまとめました。ぜひご覧になってください。

### 特別支援ブロック Step up 学級 澤田先生・西川先生・豊原先生 生活単元学習「お店屋さんをしよう」



#### 仮説1について

- 構想シートがあることで子どもたちが見通しを持って学習できていた生きていた。指導する側も授業のつながりが見えて活用しやすいように見えた。
- 構想シートが授業に生きていた。目指すものがわかりやすい。
- 目標や流れが一目瞭然。
- 授業構想シートがあることで、学習(活動)の全体の流れをいつでも確認しながらできるのがよかったです。
- めあてが視覚化されていてよい。身につけたい力がよく分かる。
- 学習の流れや足跡が見えてよい。
- ループリックを活用することが生きていた。振り返りにもつながっていた。
- △授業構想シートとループリックは常に見えるようにしてもよいのではないか。



#### 仮説2について

- 話し合いのルールがしっかりしている。
- 縦の関係がしっかりしている。日頃からの取り組みがよい。
- 話し合いのときの役割をしっかりと果たせている。
- 友達の意見に対して意見を出すことができている、それが深い学びにつながった。
- グループ→全体実態に合わせて、自信がつくようにしてから発表していたのがよかった。
- 話し合いに向けて、よい点や課題を個別指導で考え、次にグループの中で話し合う。最後に全体で発表というように段階を踏むことで発表しやすく配慮されていると思う。



#### その他

- お買い物の場面で、日々の生活、算数(計算)、社会(スーパー)のつながりや学習の目的がはっきりしていたよかった。
- 人数配分、時間配分、授業の流れがちょうどよい
- 場面にあわせた言葉遣いができていた。
- 先生方の雰囲気作りによって安心感を持って発表できた。
- △課題の「もっとよい」が曖昧だった。
- △時間はいつでも確認できるようにタイマーなどを使ってはどうか？役割分担はどうしたか
- 最初は偏ったが、目的をはっきりさせ、達成するには誰が何をすればいいかを考えるよう伝えようと思った。

#### 指導主事より

##### 仮説1

- ・評価が曖昧になりやすいが構想シートがあることで明確になっていた。
- ・自信を持って活動に取り組むことにつながっていた。

##### 仮説2

- ・関心を持って 主体的に取り組めるような題材設定だった。
- ・めあて、流れの共有、ふりかえり時間の確保 よい
- ・先生方が常に笑顔で安心感のある言葉かけ、価値づけの言葉かけがたくさんあってよい
- ・日常的に児童の実態に合わせた支援をしていることが今日の授業につながっていた。
- ・話し合いの視点をしめすことでさらに話し合いが深まる。・成功体験を重ねることで、他の活動に生きる。